

県建設業協会と姉妹盟約締結35周年

両県の友好を確認

姉妹盟約35周年記念式



互いに力を合わせ建設業の発展に努めていきたい」と挨拶する川畑会長。岐阜市のホテルグランヴェール岐阜で

た式典を岐阜県岐阜市で開き、神事や記念式などを通して、両県の友好を確認し合った。

鹿児島の偉人・平田親曾三川治水事業(宝暦5年)を縁に姉妹協会の盟約(昭和44年11月)を結ぶ県建設業協会(川畑俊彦会長)と岐阜県建設業協会(加藤宏会長)は13日、盟約締結35周年を記念し

式典は、5年ごとに両県で開催。今回は、岐阜県で開かれたもので、本県からは川畑会長をはじめ、県建設業協会理事ら約20人が出席。梅津市の治水神社で執り行われた神事では、

南九州解体工事協力会 発注機関への陳情活動等

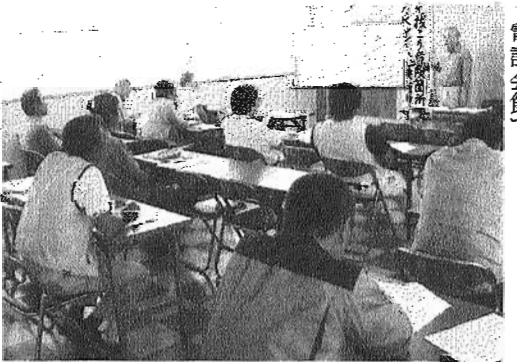
南九州解体工事協力会(スイン鹿児島)で第9回通常総会を開き、発注機関に対する陳情活動の実施や各種講習会の開催による技術向上などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。



一致団結して乗り切っていく」と挨拶する重井会長。鹿児島市のパレスイン鹿児島で

重井会長が「指名回数など含め、受注環境は年々厳しくなりつつある。互いに知恵を出し合い、一致団結してこの難局を乗り越えていく」と挨拶。

1級電気工事施工管理検定 試験準備会 出題のポイント学ぶ



過去の出題傾向についても学んだ講習会。鹿児島市の鹿児島電設会館で

格率を高めよう」と行われたもの。同日は、(株)電設の宮脇優取締役副会長が講師を務め、電気に関する基礎理論や発電・変電設備など過去問等を踏まえ説明した。

さつま町参考研修

協賛会(上村和巳会長)は22日、溝辺町の鹿児島空港ホテルで定例会を開き、さつま町の楠木園建設水道課長を講師に研修を行った。

冒頭、上村会長は「管内ではすでに湧水町が誕生し、11月には霧島市が誕生する。新市町においてどのような発注形態となるのかをわねわねとして興味深いところであり、先進町の話を参考にしよう」と楠木園課長をお招きした。質疑応答も含め、

かごしまNPO支援センター(小浜洋一理事長)主催の指定管理者制度セミナーが22日、名瀬市の中央公民館であり、出席した企業関係者や自営業者らは17年度から導入される同制度の概要や目的、取り組み方などを学んだ。

建設業関係者も関心

名瀬市で指定管理者制度セミナー

会場には建設業関係者の姿も見られ同制度への関心の高さがうかがわれた。講師を務めた小浜理事長はまず、地方自治法改正に伴って設けられる指定管理者制度と現行の管理委託制度の違いについて話した後、新制度導入の目的やPFIとの違い、特徴などを詳しく説明した。そして指定管理者を目指すために必要なこととして①制度の仕組みを理解する②公募情報の収集③公募を希望する公施設の絞り込み(事前アプローチ)④希望する施設の情報収集⑤応募する形態の検討一を挙げた。

青石で記念碑建立

間にとつて一番必要な食物をつくり続けた農地がここまぶら壊れていくのは忍びない。これでは地域も滅びる」と公園建設を計画。九州新幹線工事や現から希代の人が輩出す



設置を祝って清涼ドリンクで乾杯する出席者。薩摩川内市の現地で

薩摩川内市で(南)世界の活性化になれば、同市樋脇町市比野牛鼻地区に私財を投じて地域の人が集う多目的公園を建設中。周囲の関係者の強い勧めもあって「石内義雄公園」と命名。19日、地権者や地域住民、関係者が出席して石碑の建立式をした。

発注形態など学んでほしい」と挨拶する上村会長。溝辺町の鹿児島空港ホテルで



質疑応答では「申請書類書式の統一」「簡易水道事業の接続」「料金一元化」等について盛んに質問が寄せられ、出席者の関心の高さをうかがわれた。

講義を行う小浜氏。名瀬市の中央公民館会議室で